

とうきょうすくわくプログラム活動報告

第二たつの子保育園

1. 活動テーマ

〈テーマ〉

緑のトンネルをつくろう！！（ふうせんかずら）

〈テーマ設定の理由〉

- ・地球温暖化を子どもたちに分かりやすく伝える。緑化の大切さや木陰の涼しさを実感してもらう。
- ・育てたふうせんかずらの種を収穫し、来年度の年長児に引き継いでいく。
- ・電子黒板を活用し、映像や資料を通して理解を深める。

2. 活動スケジュール

- ・R6年3月：5歳児から種を引き継ぐ
- ・9月：茶色くなった実を収穫
- ・5月：種に水を吸わせる。種まき
- ・10月：種を実から出す
- ・6月～8月：水やり
- ・3月：次年度に種を引き継ぐ

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・土・プランター・ネットの準備
- ・緑のカーテン・トンネルを作るための場所の確保
- ・電子黒板（R7年3月28日納品）

4. 探求活動の実践

〈活動の内容〉

- ・地球が年々暑くなっていることを知る。
- ・代々受け継いでいるふうせんかずらの種を植え、夏の強い日差しを遮り植物が持つ水分の発散の効果で涼しくなることを体験する。
- ・種を蒔き日々水やりを行い、成長を知る。ツルがネットをつたうよう誘導する。
- ・実から種を収穫し、次年度の5歳児に引き継ぐ。

〈活動中の子どもの姿・声・子ども同士や保育者との関わり〉

- ・種にハートの模様があることを知り、「かわいい！」「どうしてハート形なの？」と興味を持っていた。
- ・種まき後、一斉に発芽しその後急激に成長する姿に驚いていた。
- ・水やりの時間を決めることで、子どもたちが誘い合って取り組んでいた。
- ・水やりを通して、ふうせん型の実ができたことを発見し、嬉しそうに保育者に教えてくれた。
- ・トンネルの木陰に入り、「明るい所（ひなた）より涼しい！」と体験出来た。
- ・職員・保護者からみえる場所にトンネルを設置することで、興味・関心を持ってもらえた。またお便りを通して、保護者へ活動内容の共有を行った。



種の収穫



電子黒板



トンネルの完成！！

〈振り返りによって得た先生の気づき〉

種を蒔いて新たな種が取れるまで一年を通して取り組むことで、植物の一生を子ども達が知ることが出来た。その中で様々な興味・関心、愛着などが芽生えた。電子黒板を使用し、映像を使って理解を深めたり振り返りを行う予定だったが、納品が3月28日となったため使用できなかったことが残念だった。次年度は今年度の資料を基に、電子黒板を活用して活動を行いたい。